



くすの木

都城市立志和池小学校

学校だより

令和4年度 5月号(5月31日)

校長 川越 広幸

■「あいさつの響く学校」をめざして■

『あいさつ』

「おはよう」と言うと 目が覚める
「いただきます」と言うと お腹がすく
「行ってきます」と言うと 元気に行ける
「ありがとう」と言うと 気持ちがいい
「ごめんなさい」と言うと ほっとする
「おやすみなさい」と言うと いい夢見られる
あいさつって うれしいな

これは、今から7年ほど前、当時小学生だった愛知県の福島圭一郎さんが作った詩です。あいさつの素晴らしさを素直な気持ちで表現していると思います。昨年度、本校の児童にも全校の場で紹介しました。次の表は、先週、全学級で調査した結果です。

【家では、「おはよう」「行ってきます」「おやすみなさい」などのあいさつを自分からしていますか。】

	している	していない
1年・2年	75%	25%
3年・4年	96%	4%
5年・6年	94%	6%
全体	84%	16%

【学校では、「おはようございます」「さようなら」などのあいさつを自分からしていますか。】

	している	していない
1年・2年	73%	27%
3年・4年	72%	28%
5年・6年	87%	13%
全体	75%	25%

本校の子ども達の様子を見ていると、よくあいさつしていると思います。あいさつをしない子どもはいません。笑顔であいさつできる子、遠くから大きな声であいさつできる子、声は出ないけれど心の中でつぶやいている子など様々です。あいさつの響く学校をめざして、子ども達を見守り励ましていこうと思います。ご家庭でも話をしていただけるとありがたいです。

■児童会活動■

5年生以上は代表委員会や委員会活動に意欲的に取り組んでいます。また、4年生以上はクラブ活動を楽しんでいます。これらを通して、仲間意識を高め、協力して実践する態度を育てています。

委員会活動

放送、環境美化、給食、運営集会、飼育・栽培体育、図書、保健



クラブ活動

バドミントン・卓球、ボールゲーム、パソコン室内ゲーム、創作

